

# 津田梅子を踊る

照明 高木どうみょう  
舞監 荒 直行  
制作 加藤繁治



日本舞踊

二. 「いちりんの梅」

西川 扇才佳

作曲：牧丘光倫  
囃子：福原百之助  
笛：福原百貴 ほか



現代舞踊

一. 「梅の花 今開かん」

佐藤 道代

作曲：カーマン・ムーア  
共演：坂本典子(英大43回)、妹尾直子(英大40回)、  
日高恵梨子(国大38回)、上野山智子(英大50回)

2021年6月19日(土)

14時30分開演(13時50分開場)

四ツ谷 紀尾井ホール(小)

全席指定

一般：2,000円 / 学生：無料(要予約)

◆主催：「津田梅子を踊る」実行委員会

(田中祥子・津田塾大学英文科7回、山下順子10回、  
安保尚子17回、福田誠子20回)

◆チケット取扱い・お申込

事務局：山下順子(一般・学生券)

TEL/FAX：03-3402-7936

E-mail：jsyms654@ybb.ne.jp

# 津田塾大学創立120周年をお祝いして

梅子が伝えてくれたスピリットを日舞とモダンダンスで表現する斬新な企画



## 津田 梅子 (1864 元治元年—1929 昭和4年)

- 1864 江戸牛込南町（現在の新宿区）に誕生。 幼名むめ（1902 梅子と改名）。
- 1871 開拓使派遣女子留学生の一人として欧米視察の岩倉具視大使一行とともに米国に出発（横浜から23日間の船旅、梅子は5人の女子留学生中最年少の7歳）。
- 1882 アーチャー・インスティテュート卒業。山川捨松とともに帰国。18歳。
- 1886 華族女学校教授となる。
- 1889 ブリンマー大学へ留学（～1892）。25歳。
- 1898 女子高等師範学校教授を兼任。
- 1900 「女子英学塾」を創立。麴町区一番町に開校。入学者10人で始まる。  
キリスト教を礎とした全人教育を教育理念とし、教員と学生により真の教育を育み高い専門性と豊かな教養を身につけた女性を育て、女性の進路を拓くことを目的とした。
- 1905 女子の学校として初めて、英語科教員無試験検定取り扱いの許可を得る。
- 1923 関東大震災で五番町校舎全焼。
- 1929 死去（満64歳）。  
後に、小平市に新校舎（1931）、「津田塾大学」発足（1948）。



## 西川 扇才佳 本名 日浦 才子 津田塾大学英文科15回卒

5才にて西川流入門、十世宗家西川扇藏の許で勉強を続け現在に至る。  
舞踊家の登竜門である（公社）日本舞踊協会主催「新春舞踊大会」にて大会賞、奨励賞を受賞  
東京新聞社主催「女流名家舞踊大会」にて表彰される。  
歌舞伎座及び国立劇場で開催される「西川会」に毎年出演。  
2007年より、文化庁主催芸術祭参加公演として、「西川扇才佳リサイタル」開催。  
宗家西川流理事



## 佐藤 道代 津田塾大学国際関係学科19回卒

ロータリー財団奨学生としてNY大学にて修士号及び舞踊教育学科長賞授与。1999年イサドラ・ダンカン国際学校教員免許取得。2000年より国内外で指導を行う。舞踊作家としても自作を公演。  
<http://home.att.ne.jp/alpha/idance/>  
イサドラ・ダンカン国際学校日本ダンサー：音楽に合わせ心と体をつなぎ自由に表現するダンサー。世界舞踊祭、佐藤氏主催の福島小学校、仮設住宅ボランティア公演、福祉施設公演、等出演。

### 紀尾井ホールへのアクセス

東京都千代田区紀尾井町6番5号  
TEL 03-5276-4502

#### 最寄り駅

- 四ツ谷駅（JR線・丸の内線・南北線）麴町口徒歩6分
- 麴町駅2番出口（有楽町線）徒歩8分
- 赤坂見附駅D出口（銀座線・丸の内線）徒歩8分
- 永田町駅7番出口（半蔵門線・有楽町線）徒歩8分

